科目名	専門職連携演習	講師	非常勤講師および専任教員
履修時期	3年　前期	単位数	2
		時間	30

＜科目設定理由＞

今日まで看護基礎教育における「看護の現場」は医療施設が中心であった。しかし、わが国の医療は少子高齢化を背景に病院完結型から地域包括型へ転換され、「地域包括ケアシステム」の構築が推進されている。対象の健康レベルがどの段階にあっても、在宅を視野に入れた地域包括ケアシステムの中で活躍できる看護職の需要は大きい。

そのような中で、看護職の役割は多様化しており、ケアの中心にいる患者や療養者およびその家族が「生活の質（QOL）」の維持・向上が図れるよう、他の専門職と連携・協働する能力の獲得が求められている。この専門職との連携・協働にあたって看護職は自らの役割と限界を正しく認識し、対象の自己実現のために提供できるサービスを創造する柔軟な思考と能力が求められる。

そこで、他の専門職課程を学ぶ学生たちとの協同学習をとおし、対象の健康や生活を守る保健医療福祉サービスの提供にむけて、お互いの職種の特性や専門性を活かしながら、対象の課題解決のためによりよい方法を共に検討し、実現をめざす能力の習得をめざすことをねらいとして科目を設定する。

学習目標	1．各専門職の役割と責務について、専門職間で共有することができる 2．専門職間でのコミュニケーション力を身につけることができる 3．対象者志向の倫理観を持つことができる 4．専門職間で対象者の目標を共有することができる 5．対象者の目標達成・ケアの質向上にむけて深く考えることができる 6．多職種協働・協働にむけての展望を共に語ることができる
学習内容	1回目：ガイダンス－演習のねらいと目的 2回目：看護師の職制と業務－看護師の役割と免許 3回目：社会福祉士の職制と業務－社会福祉士の役割と免許 4回目：事例に基づくグループワーク…1回目 5回目：　〃 6回目：　〃 7回目：支援計画のプレゼンテーション 8回目：　〃 9回目：支援計画の講評 10回目：事例に基づくグループワーク…2回目 11回目：　〃 12回目：支援計画のプレゼンテーション 13回目：　〃 14回目：全体講評 15回目：グループごとのリフレクション
授業形態	講義・グループワークおよびプレゼンテーション
評価方法および評価の観点	ルーブリックに基づくパフォーマンス評価
テキスト	特に用いない。適宜資料を配布する。
参考資料・図書	随時、授業内で提示
履修上の留意事項・受講条件	グループワークが主体の授業です。メンバーとしての役割を果たし積極的に参加しましょう。